

富洲原駅周辺地区（三重県 川越町） 都市再生整備計画（駅舎，自由通路，駅前広場）



発注者：川越町
所在地：三重県川越町大字豊田地内
敷地面積：駅舎、自由通路、駅前広場 約 6,300m²
(都市再生整備計画区域 約 212ha)
業務範囲：H17 年度 基本計画
((財)国土計画協会からの補助業務により、
全体計画を実施)
H18 年度：基本設計
(駅前広場、
区域全体サインシステム導入調査)
竣工年：H21 年度

富洲原駅（近鉄名古屋本線）は、川越町内唯一の交通結節点であり、町および四日市市東部の玄関口です。平成 18 年度に都市再生整備計画区域として同駅を含むエリアが承認され、「交通結節点、交流拠点機能の充実」「安心・安全に楽しく歩ける地区の形成」を目標とした計画づくりが進められています。

基本計画では駅、駅前広場全体の計画を実施し、基本設計では、駅前広場とともに、区域全体のサインシステム導入調査を実施しました。また、まちづくり交付金に関する事前協議、費用便益分析等、事業計画作成の補助業務を実施しました。

持続可能なまちづくりは、都市規模の大小を問わず求められ、目標を具体的に施設計画に繋げ、その費用対効果をマネジメントする総合的な技術が重要です。